

第19期
中間

株主通信

2024年4月1日 ▶ 2024年9月30日

株主の皆さまには、平素より株式会社かんぽ生命保険に格別のご高配を賜り、厚く御礼申し上げます。
引き続きのご支援を賜りますよう、よろしくお願い申し上げます。

取締役兼代表執行役社長

谷垣邦夫



この度の石川県を中心とした大雨に伴う災害により被災された皆さまに心よりお見舞い申し上げます。

また、先般、郵便局において、事前にお客さまのクロスセル^{*1}同意をいただかないまま、お客さまの貯金等の非公開金融情報^{*2}を用いて保険募集を目的とした来局ご案内を行うという、法令に違反する事例を確認しました。委託元である当社としても本件事案を重く受け止め、日本郵政グループの総力を結集し、再発防止策を徹底するとともに、お客さま本位のサービス提供に努めてまいります。株主の皆さまおよび関係の皆さまにご迷惑とご心配をおかけしたことを深くお詫び申し上げます。

2024年度中間期の連結業績は、運用環境の好転による資産運用収益の増加等により、修正利益^{*3}が前年同期比+337億円の843億円と大幅な増加となりました。好調な業績等を踏まえ、修正利益の通期連結業績予想を910億円程度から1,420億円程度(+56%)に上方修正すると

もに、追加の株主還元策として、350億円を上限とする自己株式取得を実施することとしました。

中間配当についても、前年度から5円増配となる1株当たり52円とし、年間配当については、期末配当と合わせて、1株当たり104円を予定しております。

今後も、商品サービスの拡充や営業力の強化、巨大な資産規模を活かした資産運用および収益源の多様化を通じて、更なる収益の向上とともに、事業運営の効率化や株主還元の拡充を図っていくことで、時価総額の向上を目指してまいります。

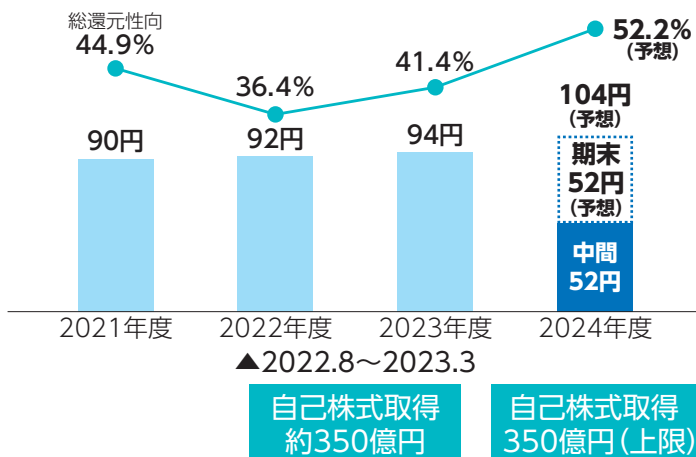
- ※1 お客さま（法人を含む。）の非公開金融情報等を利用して、
 - ・利用した情報が属する業務とは異なる業務の金融商品
 - ・利用した情報を保有する会社とは異なる会社（委託元会社または商品供給会社）の金融商品のいずれかまたは双方をご案内・ご提案すること
- ※2 お客さま対応等の中で知った、お客さまの金融取引や資産に関する、通常、本人しか知りえない情報（具体例：口座残高、引落情報、保有ファンドの状況等）
- ※3 新契約の増加が短期的に当期純利益を押し下げる生命保険会社特有の影響を一部加算調整等した利益（2024年度より株主還元原資として新たに導入）

株主還元

2024年11月14日開催の取締役会において、1株当たり52円の間配当金を支払うことおよび350億円（上限）の自己株式取得を行うことを決議しましたので、お知らせいたします。

中間配当	期末配当予想
52円 5円増 (前年同期比) ↑	52円 5円増 (前年同期比) ↑

自己株式取得
350億円（上限）



かんぽ生命の2024年

1月

一時払終身保険「つなぐ幸せ」の発売

中高年齢層のお客さまの一生の死亡保障ニーズや、自身が亡くなった際の葬儀費用や遺族の生活資金等を速やかに確保しておきたいというニーズにお応えできるよう、一時払終身保険の販売を開始しました。

大変多くのお客さまからご好評をいただいております。2024年1月に販売開始してから9か月で、約52万件のご契約をいただいております。



年金振込手続きの簡素化

2024年1月以降に各年金支払年度の第一回支払日を迎える契約から、現況届（ご署名のみでご返送いただいている現況届）を順次廃止し、現況届をご提出いただくことなく、お客さまの口座に年金の振込を行うようになりました。

5月

10月

大和証券グループとの資産運用分野における資本業務提携

5月に大和証券グループとの資産運用分野における資本業務提携を行うことに合意し、10月には、同グループの中核資産運用会社である大和アセットマネジメント株式会社に対し、20%の出資を行いました。

本提携により、アセットマネジメント事業拡大による収益源の多様化と、運用態勢・人材ポートフォリオの高度化を進めてまいります。



1月 2月 3月 4月 5月 6月 7月 8月 9月 10月 11月 12月

● 中期経営計画の見直し ● 株主総会 ● 第18期 期末配当実施

● 統合報告書発行 ● 1000万人ラジオ体操・みんなの体操祭 in 旭川

● 自己株式取得の決議（350億円(上限)） ● 第19期 中間配当実施

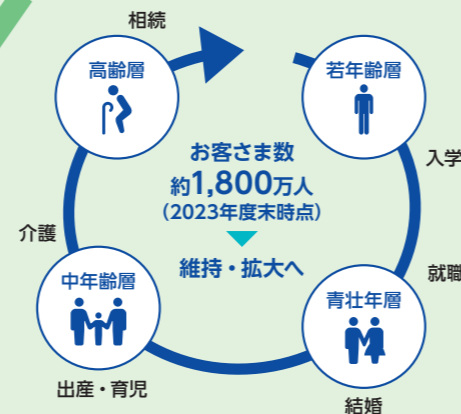
通年

アフターフォロー体制の強化

お客さまの「信頼できる気軽な相談相手」としてつながり続け、ライフステージ/世代を超えて安心を提供し続けるべく、アフターフォローの更なる充実に取り組んでいます。

お客さまとつながり続けることで、お客さまやご家族の状況・期待・関心事をタイムリーに把握した上で、有益な情報提供、お困りごとの解消、迅速な保険金のお支払いを実現していきます。

2024年度は、その一環として、特にご年配のお客さまの連絡先の確保・最新化、ご家族とのつながりの強化等を推進しています。



3月

各種お手続きのペーパーレス化の拡充

2023年11月から全国の当社支店においてペーパーレスによるお手続きを開始しました。

2024年に入院保険金や手術保険金のご請求手続きを対象に追加し、簡単な手続きかつ迅速なお支払いを実現しており、お客さま体験価値の向上につなげています。

現状の導入拠点は当社支店および一部の郵便局ですが、今後、全ての郵便局に拡大していく予定です。



10月

契約者代理制度の創設

契約者が認知症等になり、ご契約に関するお手続きを行う意思表示ができない場合でも、契約者に代わって「契約者代理人」が手続きを行うことができる「契約者代理制度」を創設しました。

決算ハイライト

保有契約年換算保険料（個人保険）*1

2兆9,422億円（前期末比△1.5%）

保有契約件数（個人保険）*1

1,936万件（前期末比△1.7%）

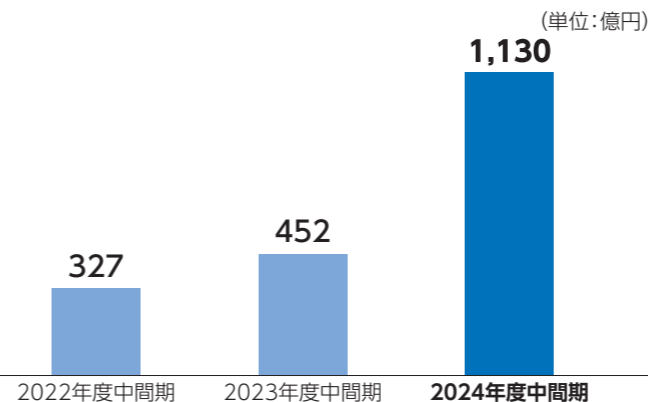
親会社株主に帰属する中間純利益

628億円（前年同期比+24.7%）

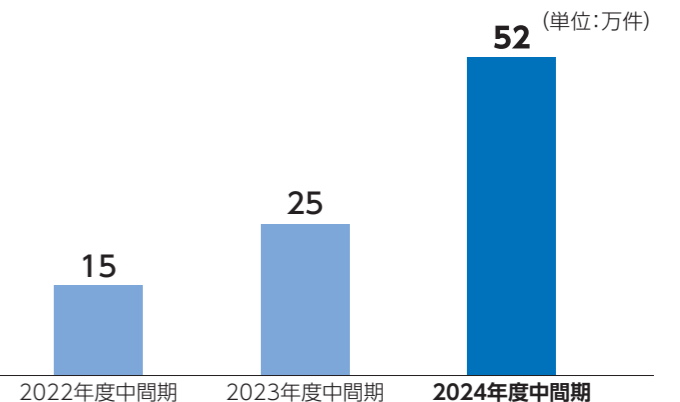
修正利益*2

843億円（前年同期比+66.6%）

■ 新契約年換算保険料（個人保険）



■ 新契約件数（個人保険）



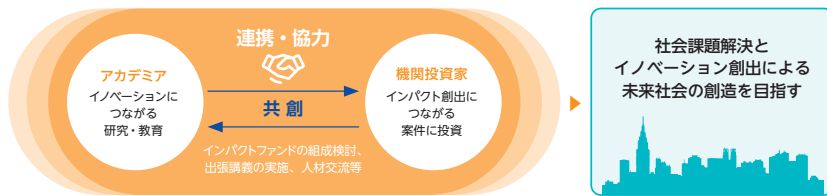
*1 独立行政法人郵便貯金簡易生命保険管理・郵便局ネットワーク支援機構から受再している簡易生命保険契約（保険）を含む
*2 新契約の増加が短期的に当期純利益を押し下げる生命保険会社特有の影響を一部加算調整等した利益（2024年度より株主還元原資として新たに導入）

産学連携によるインパクト投資の推進

日本の経済成長や社会課題の解決に必要な不可欠な人材の育成や研究・開発を行う大学との連携を強化しています。

アカデミアの研究成果を活用したスタートアップ等への資金供給の一環として、社会課題解決を目的としたインパクトファンドに関する協議を大学と進め、2024年度上期に2つのファンドへ投資をしました。

また、資産運用領域のほか、国内有数の生命保険会社としての人材・知見を活用した金融教育や交流など、多角的な接点をつくり、未来をとともに目指す共創的な産学連携に取り組んでいます。



覚書締結先(2024年9月時点)

- ▶ 学校法人慶應義塾 2022年1月締結
- ▶ 国立大学法人大阪大学 2023年1月締結
- ▶ 学校法人立命館 2023年3月締結

外部評価等

ISS ESG 「Prime Status」に選出

代表的なESG評価の一つであるISS ESG*による「ESG コーポレートレーティング」で「Prime Status」に認定されるとともに、世界の保険業界において上位10%の評価を獲得しています。(2024年11月現在)

* ISS ESGとは、議決権行使助言会社であるインスティテューショナル・シェアホルダー・サービス(ISS)の責任投資部門であり、サステナビリティ格付評価を行っています。
(<https://www.issgovernance.com/esg/ratings/>)

Corporate ESG
Performance

RATED BY
ISS ESG

Prime

多様な人材の活躍と柔軟な働き方の推進に係る評価

「共働き・共育てを可能にする男女問わない両立支援」が特に優れた企業として「Next なでしこ 共働き・共育て支援企業」に選定され、2024年3月に経済産業大臣から選定証の交付を受けました。



イメージキャラクター「かんぽさん」に磯村勇斗さんが就任!



磯村さんの演技に真摯に向き合う姿勢が、かんぽ生命のお客さまに寄り添う姿勢と通ずると考え、今回「かんぽさん」に就任いただきました。

2024年7月より「かんぽさん」を活用したプロモーション(広告宣伝、販売促進施策)を展開し、かんぽ生命の認知度の向上とあわせて、身近・安心・信頼といった企業イメージの向上を図っています。

お客さまにとって「信頼できる気軽な相談相手」として、お客さま一人ひとりの人生に寄り添い、いつでもそばにるのが「かんぽさん」です。

「話してよかった、とってもらえるように。」というキャッチコピーには、全国のお客さまに「いつでも相談できて、そばにいる安心感を感じていただきたい。」「何でも気軽に相談できるご近所さんのような存在でありたい。」という想いを込めています。